

産廃の中から見つかった1万円札Ⅱ四日市市天力須賀新町で



産廃から1000万円

四日市 1万円札「なぜ」

【四日市】四日市市天力須賀新町の産業廃棄物処理

会社「ウエスギ」で二十三日、破碎した産廃の中から約一千万円分の大量の一万円札が見つかった。同社は「なぜこんなところに」と困惑している。

同社によると、一万円札が見つかったのは同日午前八時半ごろ。東海三県の企業などから集めた産廃を破碎機にかけたところ、男性作業員がバラバラになった紙幣の一部を発見した。

同署は、二十四日に同社

から届けを受け、拾得物として持ち主を探している。紙幣の重さは約一キだったとしている。

同社の上杉圭司社長は「もうすぐ創業百年を迎えるが、こんなことは今までで初めて。とにかくびっくりしている」と話した。

問い合わせは同署Ⅱ電話059(366)0110Ⅱへ。